

事業所における自己評価結果(児童発達支援・放課後等デイ令和6年)

児童デイサービス プレーメン2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			十分なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	対象とした事業所ではない
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCAを意識し、毎日の職員ミーティングを行っている
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			結果表の確認や事業所スタッフへの周知・改善案の話し合いを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法律家による外部監査等を受け、業務改善に繋げている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内、社外含め、年10回以上の研修計画を作成し実施している
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	○			支援計画の作成に基づき、保護者との面談の中で要望や方向性の確認を行い、ご了承を頂いている。また、学校や病院(発達検査など)での様子や参考資料を頂き、情報共有をした中での作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育長を中心にスタッフ全員で療育会議を定期的に行い子ども達に必要な事・活動を話し合い、個別・集団のプログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めこまやかに設定して支援しているか	○			子どもの年齢に合わせ、活動内容の課題を決め、対応している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて計画を作成しているか	○			個別・集団活動を一日のプログラムに入れ、流れを作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			1日の療育の流れを日案にて確認し、メイン・ヒヤリ・サブの割り当ての確認を行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			今日の支援を行いどのような効果が得られたか、次回はどうかアプローチするかの共有を全スタッフで行い共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日のうちに記録を記入し、児童の様子・スタッフの支援・効果を記載している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			4ヶ月、または6ヶ月を目安に行い、計画を新たに作成している
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせせて支援をおこなっているか	○			常に意識をして行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、担当職員が参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			対象児童全員ではないが、必要としている児童の学校との情報共有や連絡調整を行い、保護者が間に入り、やり取り(送迎時間の確認など)を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもの主治医等と連絡調整を整えているか			○	対象児童なし
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	対象児童全員ではないが、書面・電話での情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象児童なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達支援センターと連携を図り、定期的な訪問をして頂き助言を得ている

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○			公園での交流や事業所内の行事において、参加ご兄弟との交流行っている
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			年に数回参加
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			必要に応じて面談を行い、情報共有することで療育に繋げている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			面談や療育参観にて実際の支援の様子を見て頂き、ご家庭でも行える支援・対応への助言を行う
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の利用契約書にて一つ一つ確認しながらご説明を行い、都度、ご不明点については返答している
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートや面談、電話での相談について様子の確認や助言を行い、ご家庭との情報共有をしている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			ママ会や親子行事にて保護者同士の交流の場を作っている
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が発生した際は、苦情対応マニュアルに沿って早急に適切な対応を行っている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事の際はHPにて様子をUPする事や月ごとに通信を配布している
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			会社として取り扱いの研修を行い、注意している
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			書面では伝わりにくい保護者には具体的に口頭にて説明を行う等、それぞれに合った配慮を行う
		③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	保護者様への周知を徹底していけるよう工夫していく
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	○			避難訓練は最低年3回行っている

非常時の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			北海道障がい者虐待防止、権利擁護研修に参加し、社内研修を実施している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象児童なし
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			おやつ提供の際、事前にアレルギー調査を行い、提供する場合は他児と席を離す・別皿に盛るなど、対応を行う
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった場合は、特定の報告書に記載し、話し合いを通して職員で共有している